

にいざ 歴民だより

第3号 (平成24年12月)

発行：新座市立歴史民俗資料館
新座市片山一丁目21番25号
電話 048-481-0177
FAX 048-481-0149
Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp

★夏の連日の酷暑が一転、冷え込みが厳しい毎日・・・。

鮮やかな緑で資料館を彩った草花も、来春まで長期のお休みに入りました。

庭の桜の木も、春の訪れとともに、皆さんを満開の花でお迎えするために、今のうちに力を蓄えているようです。

さて、11月は「歴民のつどい」の開催や資料の「くん蒸」作業などのイベントも続きました。長期休館でご迷惑をおかけしましたが、未公開の資料も多く、順次展示していく予定です。

「歴民だより」今年は今号が最終となります。来年も、皆さんが気楽に立ち寄ることができるよう、明るい雰囲気資料館となるよう一層努力してまいります。

それでは、皆様よい新年をお迎えください。

資料館トピックス (平成24年6月～)

★歴史民俗資料館のテレビ収録がありました。



去る6月26日(火)、地域情報番組「まちの記憶・新座の歴史」の収録が行われ、番組内で当館にて展示している野火止用水関連の資料の一部が紹介されました。

「まちの記憶・新座の歴史」は7月17日～31日にかけて、「JCOMチャンネル」にて放映されました。

★「夏休み子ども歴史講座」が開催されました。



8月22日(水)市内の小学生を対象とした「子ども歴史講座」が開催されました。

当日は天気にも恵まれ、参加した子どもたちも、新座市を代表する史跡「野火止用水」について、その歴史や現在の姿に興味津津。用水沿いの植物や生物についての講習やフィールドワークを通じて野火止用水をより身近なものとして感じた様子でした。

☆「子ども歴史講座」は、毎年夏に開催を予定しています☆

★「歴民のつどい」を開催しました！



昨年は開館 30 周年の記念講演会を開催しましたが、今年度は、より開かれたイベントとして初めて「歴民のつどい」を開催しました。

午前中は市民ボランティアが鎧武者に扮して甲冑（レプリカ）の着用体験を行い、午後は大東文化大学准教授の宮瀧先生をお迎えしての文化財講座、及び市内の歴史研究サークル「にいざ歴史文化財研究会」メンバーが日ごろの研究成果を発表しました。

★館内資料の「くん蒸」を実施しました。



11月6日（火）から19日（月）にかけて、かけがいのない貴重な文化財を保護するため、所蔵資料の「くん蒸」（防かび、殺虫、殺菌）作業を実施しました。

★「研修室」利用再開に向け準備中です！

諸事情により、ご利用いただけなかった「研修室」ですが、11月に本来の用途に利用できるようになりましたが、皆様により一層快適にご利用いただけるよう、リニューアルに向け準備を進めております。

リニューアル後は、特別展等の催しものコーナーとして、また、普段は館内資料の閲覧や相互交流の場としてご利用いただく予定でおりますので、今しばらくお待ちください。

★さて、これは何でしょう？



くん蒸のための資料の移動中に発見した「人工衛星」のような形の謎の球体・・・。
実はこれ、「洗濯機」なのです！
昭和37年から45年に作られ、電気洗濯機の急速な普及により姿を消しました。
海外では現役のものもありますが、国内に現存するものは極めて少ない貴重なものです。
☆目で見ると昭和の暮らしコーナーで展示中です！